

第3章 | 都心地区

- 1 都心地区の位置付けと特色
- 2 都心地区における都市づくりのテーマ
- 3 都心地区における都市づくりのエリア
- 4 都心地区における都市づくりの基本方針

第3章 都心地区

1 都心地区の位置付けと特色

(1) 都心地区の概要

都心地区は、「杜の都」の愛称で親しまれている本市の中心に位置し、東北の玄関口として重要な交通結節点^{*}である仙台駅を有し、商業・業務機能や行政機能など多様かつ高度な都市機能が集積しています。また、青葉通や定禅寺通、宮城野通といったシンボルロードに加え、国分町などの歓楽街や昔ながらの横丁、主要な通りの裏路地などでは昼夜問わず楽しめる多彩なコンテンツが充実するなど、本市における交流や賑わい、杜の都の緑や景観など本市の強みや魅力を生み出す空間を多く有しています。

都心周辺（左：仙台駅西側 右：仙台駅東側）



(2) 都心地区の位置付け

全体構想では都心地区について、藩政時代からの緑豊かで潤いのある美しい「杜の都」の都市環境や、東日本大震災^{*}を教訓に培われた高い防災力を生かした「防災環境都市^{*}」としての都市個性を基盤として、その質を高めながら都心の機能強化を図り、東北・仙台の持続的な活力の増進につなげることを目指すこととしています。

また、東北をグローバルに牽引する中枢都市として、国際競争力を有し、高次の都市機能の集積による賑わいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける躍動する都心を目指し、都心部の再構築を進めるとともに、ウォークブル^{*}な都市空間の形成を進め、回遊性の向上を図ることとしています。

(3) 都心地区における今後の都市づくりの方向性

都心地区における今後の都市づくりの方向性として、都心再構築プロジェクト[※]等による都心部の機能強化の促進や、市役所本庁舎建て替え等の公共施設整備、次世代放射光施設[※]の稼働を契機とした研究開発拠点や関連業種の集積、東北学院大学の五橋へのキャンパス移転による新たな人の流れ、青葉通・定禅寺通・宮城野通における地元まちづくり団体によるまちづくりの推進と、主要な通りとその周辺への面的な賑わいの創出、青葉山周辺や宮城野原周辺といった都心と密接に関係するエリアとの連携といったことが挙げられます。

〈今後の都市づくりのポイント〉

- ✓都市再生緊急整備地域[※]を中心とした都心再構築プロジェクト等による都心部の機能強化の促進
- ✓市役所本庁舎建て替え等の都心における公共施設整備
- ✓次世代放射光施設の稼働を契機とした研究開発拠点や関連業種の集積
- ✓東北学院大学の五橋へのキャンパス移転による若者を中心とした、新たな人の流れの活用
- ✓青葉通・定禅寺通・宮城野通における地元まちづくり団体によるまちづくりの推進
- ✓主要な通りとその周辺エリア（裏路地など）とが連携した面的な賑わい創出
- ✓青葉山周辺や宮城野原周辺といった都心と密接に関係するエリアとの連携

2 都心地区における都市づくりのテーマ

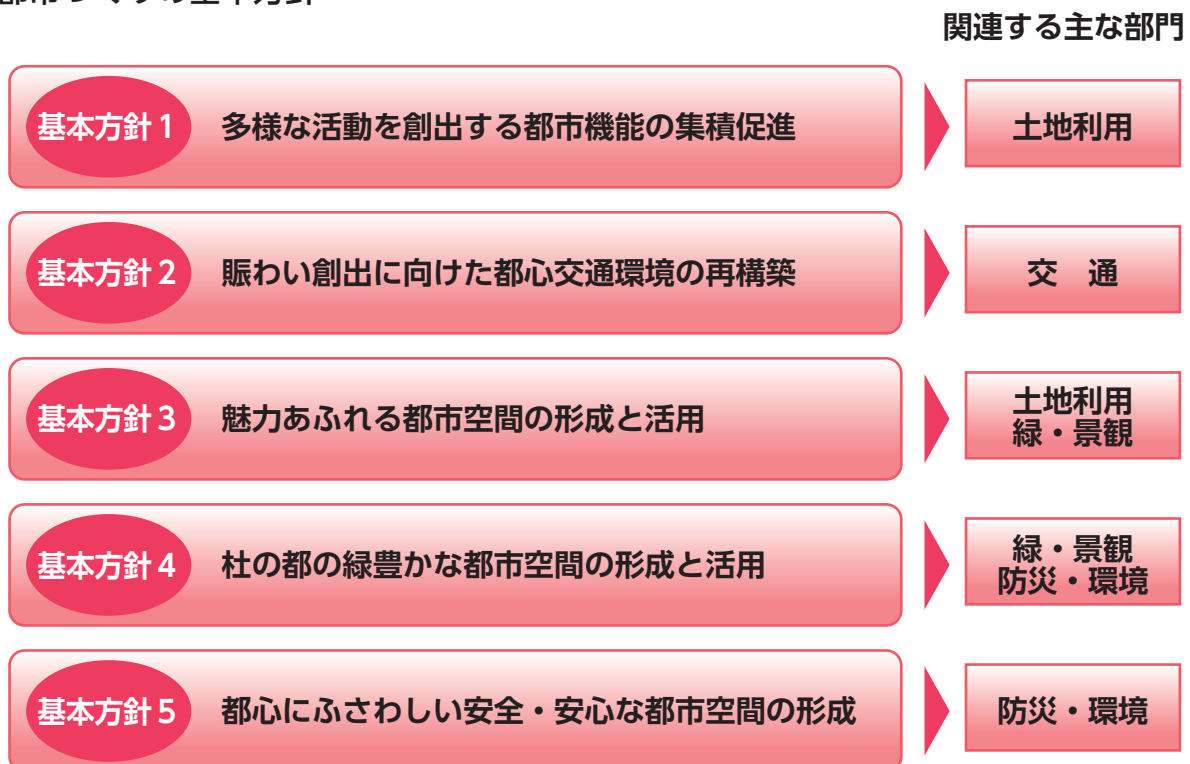
■都市づくりのテーマ

「杜の都と世界が交流する“最上級”の都市空間へ」

“The Greenest City” を掲げ、常に高みを目指す姿勢で挑戦を続ける本市において、経済活動や交流の中心的な舞台となる都心では、多様な都市機能の集積や交通環境の再構築などを図り、国際競争力や経済活力の向上、様々なエリアの個性や強みに基づく価値を高め、新たな賑わい・交流、回遊を生み出す、魅力・活力があふれ躍動する都心を目指します。

都市づくりのテーマの実現に向けた基本的な考え方として、以下の5つの考え方を都市づくりの基本方針として定めます。

■都市づくりの基本方針



3 都心地区における都市づくりのエリア

(1) 都心地区内の各ゾーンやエリアにおける考え方

①各ゾーンの考え方

■都心機能強化ゾーン

商業・交流・行政などの高度な都市機能の集積をはじめとした国際競争力のあるビジネス環境が整う、仙台駅周辺や主要な通りを中心とした、仙台都心の核心となる区域。

■商業・業務・居住ゾーン

都心のエリア価値を高める、働く、学ぶ・楽しむ、暮らすなどの多様で高次の機能が調和した利便性の高い、都心機能強化ゾーンを取り巻く区域。

②各エリア等の考え方

■仙台駅周辺 ～東北の発展を牽引する仙台の顔～

広域的な交流を支える東北の玄関口であり、国際競争力を有する高次の都市機能が集積した仙台・東北の経済活力を生み出す中枢エリア

■青葉通・一番町周辺 ～賑わいに満ちた出会いの場～

青葉通の交流・賑わい軸を中心に、商業・業務など都心の質や機能を高め、地域に“賑わい”と“出会い”を生み出すエリア

■勾当台・定禅寺通周辺 ～杜の都を象徴する景観と文化交流・市民活動の場～

交流・賑わい軸の定禅寺通や、多彩な市民活動を醸し出す市民広場をはじめ新たな賑わいが期待される市役所新本庁舎とその周辺、商業・賑わい軸の一番町などの多彩な空間が一体となって、日常的な賑わいと憩いを創出する仙台の象徴たるエリア

■宮城野通周辺 ～住む・働く・楽しむ・学ぶが調和した場～

仙台駅から宮城野原運動公園や榴岡公園などへ繋がり、業務、商業、学校などと居住環境が調和した利便性の高い環境を生かしたエリア

■交流・賑わい軸

仙台駅周辺や主要な通りとその周辺施設とをつなぎ、各エリアの経済活動や交流、賑わいを支える軸

■商業・賑わい軸（アーケード）

魅力的で個性ある店舗の連続と、歩行者中心の空間によって、賑わいや人の流れを生み出す、都心地区の商業を支える軸

■裏路地など各軸の周辺部

各軸の周辺部は、昼夜問わず楽しめる多彩なローカルコンテンツを集積するなど、集客・主要スポットとともに都心の賑わいを面的につなげるエリア

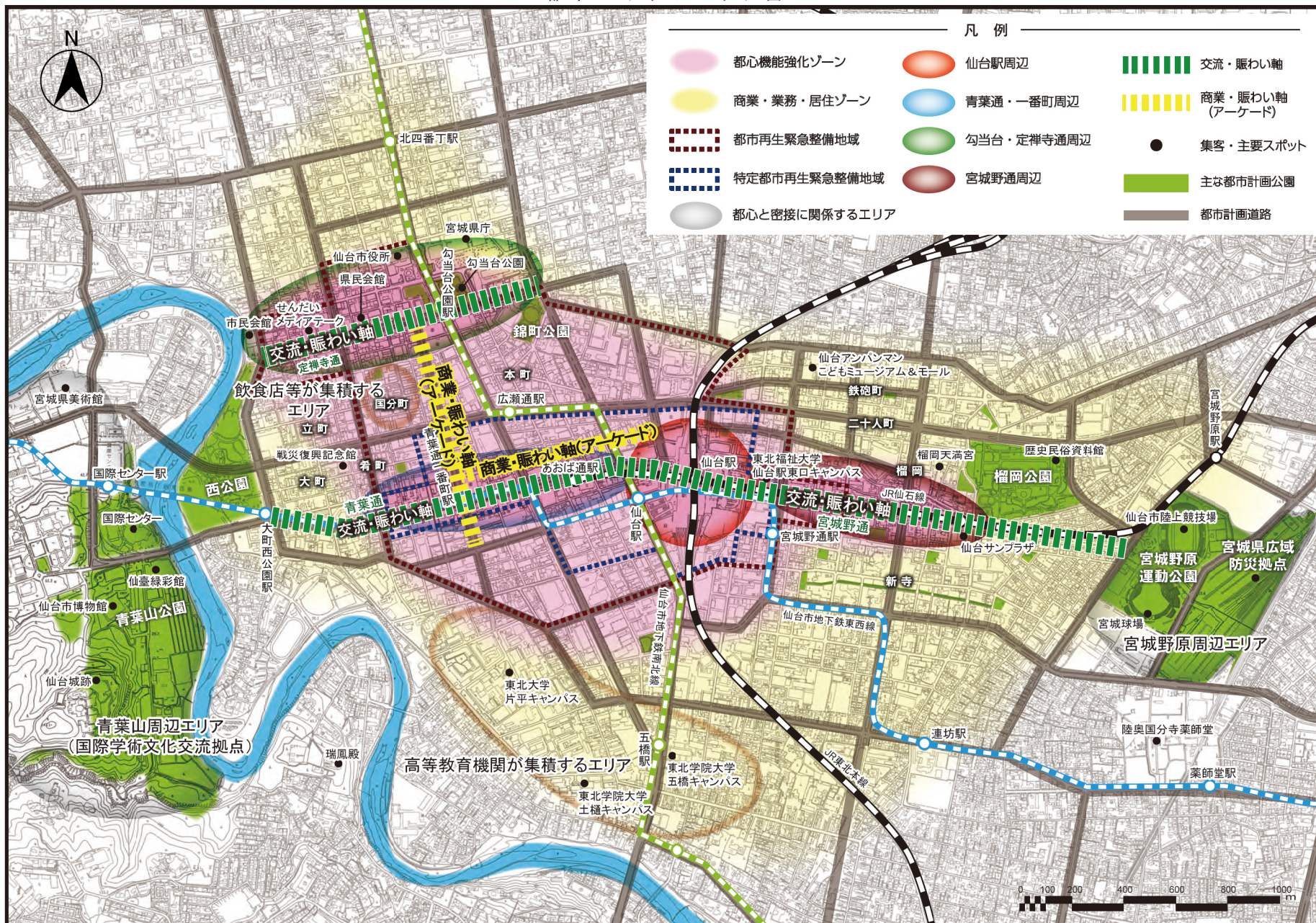
■飲食店等が集積するエリア

国分町周辺の飲食店等が集積し、昔ながらの歓楽街の雰囲気を残しつつ、賑わいや憩いを感じられるエリア

■高等教育機関が集積するエリア

東北大学や東北学院大学など高等教育機関が集積し、「学都」としての人材を含む知的資源に加え、都心地区内への若者の人の流れを生み出すエリア

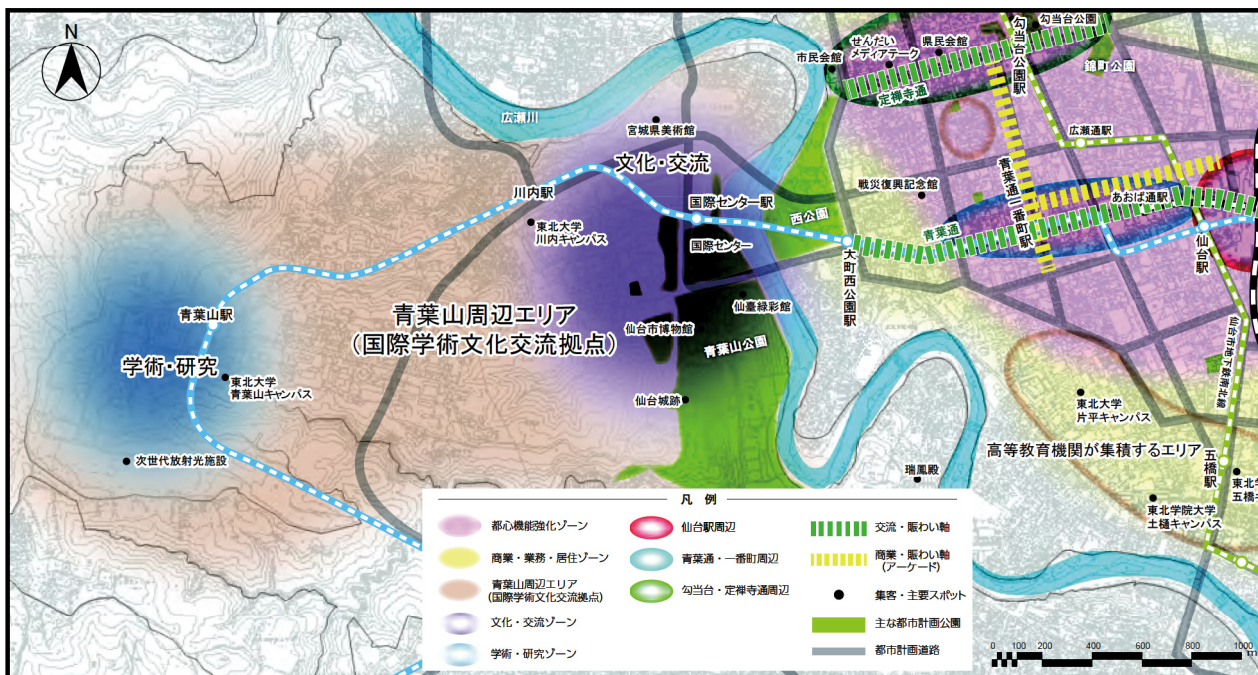
都市づくりのエリア図



(2) 都心地区と密接に関係するエリアにおける考え方

■青葉山周辺エリア（機能拠点：国際学術文化交流拠点）

杜の都の歴史文化資源や学術研究機関、国際催事場、青葉山公園などを有し、全体構想では、機能拠点の「国際学術文化交流拠点」に位置付けられるエリアで、都心地区と隣接する地理的な特性も生かしながら、本市における国際的な研究開発や文化・交流を支えるエリア



■宮城野原周辺エリア

運動施設や公園といった集客力の高い施設を有し、宮城野通や榴岡公園と連携しながら、仙台駅東側の賑わいや交流を支えるとともに、災害時の広域的な拠点として宮城県が整備を進める宮城県広域防災拠点を有するエリア

